

# 令和5年度第2回南外地域協議会会議録

令和5年7月26日

南外地域協議会

## 令和5年度第2回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■協議	3
1) 令和5年度地域枠予算事業に関する報告について	3
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」について	4
■閉会	8
■署名	8

## 令和5年度 第2回南外地域協議会 会議録

---

■日 時：令和5年7月26日（水） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 10名

伊藤 正人、加賀 正夫、加賀屋 由香、風口 宏子、  
今野 徹、佐藤 喜八郎、佐藤 正行、進藤 覚、  
相馬 静華、高寺 衛

■欠席委員： 4名

伊藤 伝悦、伊藤 悠、伊藤 真紀子、佐渡 敏夫

■出席職員： 4名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長）

佐藤 マキ（公民館長）

木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）

菊地 明憲（地域活性化推進室主査）

■次 第：

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

①令和5年度地域枠予算事業に関する報告について

②南外地域「彩色千輪プロジェクト」について

4 その他

5 閉 会

6 署 名

---

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆さま、本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまから「令和5年度第2回南外地域協議会」を開会いたします。

開会にあたり、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは、お忙しいところ第2回目の南外地域協議会にご参会いただきまして、誠にありがとうございました。連日、暑い日が続いておりまして、どうか体調に十分に注意されまして、崩すことがないようにお願いしたいところです。それとは別に、7月15日からの大雨では、秋田県に甚大な被害を及ぼしております。当南外地区においても、15時30分にいち早く、私が住んでいるところに避難指示が出まして、被災した皆様にお見舞い申し上げますという言葉は、自分に言っているようではすけれども、本当に被災された方には、お見舞いを申し上げるところでございます。今の世の中、どんな災害が来るのか、予測できませんので日頃から十分注意していかなければいけないという教訓にもしたいと思います。今日の2回目の案件は、そんなに多くないようではすけれども、皆さんの忌憚のない意見をいただきながら、進めてまいりたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきます。

本日の出席員数は10名で、過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。また、会議録作成のため録音させていただきますことを、あらかじめお断り申し上げます。

なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、協議会を始めます。

議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。

加賀正夫 委員と今野徹 委員にお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。議題①「令和5年度地域枠予算事業に関する報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○菊地地域活性化推進室主査（以下「地域活性化推進室主査」と表記）

【資料説明】

◇令和5年度地域枠予算事業に関する報告について

（「【南外地域】地域枠予算対象事業実施報告及び事業説明書」参照）

■南外地域花いっぱい運動（市民協働型）

日程：令和5年6月16日（金）※花苗配布日 南外公民館前車庫

概要：南外地域内の自治会や小・中学校等へ花苗を配付することで、環境美化や植栽等の作業で世代間交流を行うことができ、地域コミュニティの活性化につなげることができました。（自治会花壇は後日確認予定）

■教えて！菌ちゃん農法勉強会パートⅡ & 国光美佳先生のミネラル食育（市民主導型）

日程：令和5年6月11日（日）

時間：第1部 午前9時00分～ 畑（高野低温倉庫後方）及び湯ノ又児童館

第2部 午後1時00分～ 湯ノ又児童館

概要：第1部は、菌ちゃん先生から実際の畑で土作りや種の蒔き方などを学んだ後、湯ノ又児童館に場所を移し講演会を行いました。

第2部は、国光美佳先生のミネラル食育に関する講演会を実施。

参加者延べ57人。

■第16回南外さなぶり酒花火（地域イベント応援型）

日程：令和5年6月3日（土） 南外体育館駐車場

時間：午後3時00分～ 観覧席開場

午後4時00分～ ステージイベント

午後7時40分～ 花火鑑賞会

概要：特設会場ではお笑い芸人ハナコによる特別ステージのほか、地元芸能団体によるステージ発表やふるまい酒などを実施。夜には、約800発の花火が夜空を彩り、会場を盛り上げました。来場者3,500人。

□今後の事業実施予定（8月～9月）

第7回南外盆踊り開催事業（市民主導型）

開催日：8月16日（水）午後4時～

場 所：大仙市役所南外支所駐車場 ※雨天の場合は、南外コミュニティセンター

概 要：南外盆踊りを実施することにより、踊り手、観客が今後の地域活動及び住民の自主活動を盛んにし、「地域のにぎわい」の創出へ繋げていく。カラオケショーやスイカ割り競争、コーラ早飲み競争等を予定。

事業費：357,000円（内地域枠予算 200,000円）

南外地域運動会（市民協働型）

開催日：9月10日（日） ※午前のみで終了予定

場 所：南外小学校グラウンド

## ○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

【意見なし】

ないようですので、ここでこの議題に関する話し合いを終わりたいと思います。

続きまして、議題②「南外地域『彩色千輪プロジェクト』について」事務局より説明をお願いします。

## ○地域活性化推進室主幹

### 【資料説明】

◇南外地域「彩色千輪プロジェクト」について

（『南外中学校×堀井徳五郎翁』昔話伝承事業関係資料及び支所だより 8月号 参照）

それでは、私の方から南外地域「彩色千輪プロジェクト」について、説明させていただきます。「彩色千輪プロジェクト」に関しましては、令和4年度からスタートした事業となりますが、南外地域の拠点と位置付けている南外ふるさと館、南外民俗資料交流館、南外さいかい市の3つの施設を上手く活かして地域振興に役立てていこうという取り組みです。

令和3年度から4年度にかけて、地域協議会の中で意見を頂戴しながら、また住民アンケート等も行いながら、実施計画を作成しました。令和5年度に関しましても、彩色千輪事業として、様々な事業を予定しておりますが、今回説明させていただくのは、南外中学校と堀井徳五郎先生を組み合わせた取り組みについてです。

説明資料は、「南外中学校×堀井徳五郎翁」昔話伝承事業という資料と南外村の「昔ばなしの伝承者」堀井徳五郎、あとはまだ配布しておりませんが、広報「だいせん日和」8月1日号と同日配布される南外支所だよりの8月号です。では、お手元の資料のうち、「南外中学校×堀井徳五郎翁」昔話伝承事業をご覧ください。

地域活性化推進室では、先程もお話しした彩色千輪プロジェクトという地域の公共施設を生かした取り組みの他に、令和3年度から南外中学校と合同で地域の課題解決に取り組んでいく事業を実施しています。こちらの事業に関しては、南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトとして実施していく予定です。

今回紹介する「南外中学校×堀井徳五郎翁」昔話伝承事業についてですが、こちらに関しましては、旧南外村南檜岡地区出身で昔話の語り部として活躍した、堀井徳五郎さんという方がいらっしゃるのですが、この方は昔話の伝承者として、研究者の方からは知られているものの、没後から半世紀が経過しまして地元である南外地域ではその活動や功績を知る方が少なくなっています。

そのため、記憶の風化が進んでいる傾向にあります。そうした中、専門家等から徳五郎さんの功績を後世に伝えるため、何らかの取り組みが必要なのではないかとの意見がありました。

そういった動きを見まして、地元中学生の行動力を活かして徳五郎さんの世界観をもう一度作り直してみようという取り組みが今回の事業です。これは、南外中学校の生徒さん達に、堀井徳五郎さんの残した昔話をモチーフにした作品作りの機会を提供することで、地域の民俗文化を受け継いでいく大切さを考え、郷土への愛着を高めるきっかけをつくります。

また、この事業をとおして、中学生の学習活動を広く周知して、堀井徳五郎さんの功績を保護者や地域住民の方に広めて関心を高めていきたいと考えております。

併せて、この事業を通じて作られた作品を地域の拠点と位置付けている3つの公共施設に展示するなどして利活用する、そうすることで中学生の学習活動をリンクさせ、拠点施設の活性化につなげる取り組みになっています。

具体的には、現在、南外中学校の2年生16人を活動主体にして、次の取り組みを実施しています。

一つ目は、昔話と方言をテーマにした地域文化の学習、二つ目は堀井徳五郎さんが残した昔話を題材にした紙芝居を作成し、公開発表会を実施するというものです。

こちらの事業のタイムスケジュールですが、6月29日から既に事業の方がスタートしておりまして、6月29日の最初の学習活動の中では、堀井徳五郎さんの肉声の音源データを生徒から実際に聞いてもらうとともに、徳五郎さんの人物像を理解してもらった後に、大仙民話の会の語り手の方による、徳五郎さんの残された昔話の中から「長福山の山姥」という昔話を聞いていただきました。

今回の事業では、中学生の皆さんから紙芝居製作をしていただくわけですが、その題材になるのが、「長福山の山姥」という昔話になります。

2回目の学習活動は、7月14日に実施しています。こちらでは、約20分間にわたる「長福山の山姥」を、今の2年生は16名おりますけれども、16の場面に切り出しして、誰がどの場面の紙芝居を作るのかといった担当分けをしました。その他に、紙芝居の絵を描く際のコツや注意点などを学んでもらおうと、コーディネーターとして元地域おこし協力隊員で、現在大仙市内に在住されているデザイナーの岡田智美さんをお願いして、イラストを書くための講習会を行っています。その時間の中で、下描き作成まで終わっていません。

この後、夏休みの課題として中学生の皆さんには、紙芝居製作をお願いしています。夏休み中に作った紙芝居をもとに、休み明けに公開の場で発表会を実施する予定です。

昨年も南外中学校の2年生を対象にして、地域活性化プランの発表会というものを実施しました。これに関しては、先程説明した3つの施設の使い方について中学生からアイデアを出してもらって、それを活性化プランというものにまとめてもらったものを地域の皆さんの前で発表してもらっています。その発表会では地域協議会の皆さんですとか、学校評議員の皆さんをゲストに迎えて発表してもらいました。今年も同じような流れで進め、最終的にできた作品を公共施設で展示する予定です。

事業の効果としては、中学生がこの事業における学習活動を通じて、秋田で語り継がれてきたユニークで独創的な昔話の世界と、南外の地域に根差した言葉の形態である方言に

触れることで、田舎の魅力を再認識してもらうとともに、自分たちが地域文化の継ぎ手であるという自覚の高まりを期待するものです。

また、埋もれつつあった語り部・堀井徳五郎の認知度と話題性を高めるとともに、その功績を地域づくりに活用していきたいと考えています。

この事業の他に今、同時進行で南外中学校の3年生の皆さんにも協力していただいています。3年生の皆さんにも大仙民話の会による昔語りを2つ聞いていただきました。一つは、「ぼうさまの木」という昔話で、もう一つは2年生と同じく「長福山の山姥」です。3年生は、この2つの昔話の中からどちらかを選び、話の中の印象的な場面、もしくは人物像をイラスト化してもらおうという作業をお願いしています。こちらも出来上がった作品は、南外地域の拠点の公共施設に展示することになっています。

堀井徳五郎さんに関連する事業というのは、中学校と連携する事業の他に地域活性化推進室独自で進めている事業がいくつかございます。その中で今回ご紹介するのは、支所日より8月号にも掲載しておりますが、堀井徳五郎さんの資料展示コーナーを南外民俗資料交流館の中に新設したことです。徳五郎さんの残した資料というのは、それほど多くないため、資料館の一角を使っただけの展示コーナーとなっておりますが、その中に資料展示と併せまして、その場で徳五郎さんの昔話を触れることが出来るコーナーも設置していますので、お近くに行かれる機会がありましたら、ぜひご覧いただきたいと思います。

また、資料展示コーナーの開設に併せまして、記念事業として専門家の方を招いてミニ講演会を企画しております。こちらは、8月25日の平日で「大曲の花火」の前日になりますけれども、この日に梅花女子大学でストーリーテリングの講師をされている、フリーアナウンサーの来栖史江（くるす ふみえ）さんをお迎えしまして、堀井徳五郎さんに関する講演会を実施する予定です。日時は8月25日の午後2時から、場所は南外民俗資料交流館を予定しております。参加料は無料になりますが、会場のキャパシティの問題もありまして、定員を設けさせていただきたいと考えております。こちらを支所日より8月号を通じて地域住民の皆さんに参加の呼びかけをして、実施したいと考えています。

このように堀井徳五郎さんの活動ですとか、残された昔話を活かした地域づくりに、今後取り組んでいきたいと思っておりますので、委員の皆様からご意見等いただけますよう引き続きよろしくお願いいたします。以上で説明を終わります。

## ○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

## ○佐藤喜八郎委員

今の説明に堀井徳五郎さんの世界観というお話がありましたが、もう少し詳しく教えてください。それと、資料館に資料展示されているということで、昔語りの日とか、昔語り大会など、思い付きですけれどもそういった構想はないでしょうか。



## ○地域活性化推進室主幹

はじめに徳五郎さんの世界観の再構築なんですけれども、今回中学生の皆さんにお願いしている「長福山の山姥」に関しては、今回詳しくは説明しませんが、お配りしている資料「南外村の『昔ばなし伝承者』堀井徳五郎」が徳五郎さんの取り組みや歩みをまとめた資料になっており、資料にも記載のとおり「長福山の山姥」という作品は、児童文学作家の松谷みよ子さんの手によって「やまんばのにしき」という形で絵本や教科書などの教材として世に出ています。「やまんばのにしき」のベースとなった「長福山の山姥」を今回紙芝居化しますが、この「やまんばのにしき」という絵本は、原作は松谷みよ子さんですが、その後様々な絵描きさんが紙芝居ですとか、学校の教科書にも載っておりますので挿絵ですとか、絵本の挿絵ですとか、そういった形で様々な解釈によってイラスト化しております。

今回、中学生の皆さんには、最初の段階ではイメージの固定化を避けたいということで、イラストなどを提示しないでとりあえずお話だけを聞いてもらい、自分たちのイメージを持ってイラスト化してもらうようお願いしました。ただ、学校とのやり取りの中であまりにもイメージがないと描きづらいのでは、という話があり、挿絵等を若干、イラスト例という形で提供しておりますけれども、後は「長福山の山姥」のシナリオをもとにして、生徒それぞれのイメージでイラスト化してもらうという事業になっております。そういったことをもって、世界観の再構築につなげていきたいと考えております。

昔話イベントにつきましては、つきの木こども園や小・中学校の保護者を対象に昨年実施したアンケートの中でも昔話イベントをやってほしい、やってみたいという回答がありました。そういったことを受けて、今回はミニ講演会を企画しましたけれども、一回で終わらせることが無いように今後も徳五郎さんや昔話にちなんだ催しを定期的に計画していきたいと考えております。以上です。

## ○会長

ただいまの説明でよろしいでしょうか。

## ○佐藤喜八郎委員

はい。

## ○会長

他にご意見のある方はいらっしゃいませんか。

【意見なし】

ないようですので、本日の会合はこれで終わりたいと思います。

次回の会合は9月下旬を予定しております。詳細は後日事務局を通じてお知らせします。これもちまして、令和5年度第2回南外地域協議会を閉会します。

(19時00分 閉会)

---

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

加賀 正夫

---

今野 徹

---